

## 私の母

動画リンク : <https://youtu.be/TopaJ4tQEfg>

今回は「私の母」を学びながら、日本語を勉強しましょう。  
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には"ふりがな"があります。  
後半は少しだけ速く(+20%)なり、漢字に"ふりがな"はありません。  
学習にお役立てください。

### ■自己紹介と母の紹介

初めまして、私は田中大輔です。今日は、私の母についてお話しします。母の名前は田中美智子です。年齢は今、55歳です。母は、私が子どものころからいつも優しく、明るい人でした。今も、毎朝早く起きて家事をこなし、家族みんなを支えてくれています。

母の趣味はガーデニングです。小さな庭で、いろいろな花を育てていて、季節ごとに庭が色とりどりの花でいっぱいになります。特に、バラが好きで、毎年バラの花が咲くのを楽しみにしています。

母は私に「努力すること」の大切さを教えてくれました。たとえば、私は小学生のときにサッカーを始めたのですが、最初はまったくうまくいきませんでした。そのとき、母は「すぐにうまくいかないこともあるけど、毎日少しずつ練習すれば、必ず上達するよ」と励ましてくれました。毎日練習を続けた結果、レギュラー選手に選ばれ、数々の試合で活躍することができました。ある大きな大会では、チーム内で一番多くのゴールを決め、チームを優勝に導くことができました。この経験は、私にとって大きな自信となり、母が教えてくれた「努力すれば必ず結果がついてくる」という教えを強く実感した瞬間でした。

また、母は家族を大切にすることを教えてくれました。日本では、家族が一番大事な存在で、お互いに助け合うことが当たり前です。母は、いつも家族全員のことを考えて行動してくれました。特に、私が体調を崩したときは、すぐに温かいおかゆを作ってくれて、そばにいて看病してくれました。母のその優しさに、今でも感謝しています。

今日は、そんな母との思い出や、母から学んだ大切な教えを皆さんにお話しします。日本の家族や文化について、少しでもお伝えできたら嬉しいです。

### ■母の人柄と日本文化

私の母は、いつも周りの人を大切にできる優しい人です。母は思いやりが深く、どんなに忙しいときでも、人の話をしっかり聞いて、助けが必要なときはすぐに手を差し伸べてくれます。近所の人困っているときに、自分の用事を後回しにして手伝いに行くこともよくありました。

母のこうした行動は、日本の家族愛や協力の精神に深く関係しています。日本では、家族や周りの人々を支え合うことが非常に重要とされます。母は、そうした日本の伝統的な考え方を私に教えてくれました。母自身も、私や家族のために、常に全力でサポートしてくれる存在でした。

また、母は勤勉さも大事にしています。毎日早起きして、家事をこなすだけでなく、仕事や趣味にも一生懸命取り組んでいました。母は、「何かをするなら、最後までしっかりやり遂げなさい」と、いつも私に言っていました。日本では、努力を続けることがとても大切で、母はその姿勢を日常生活で私に見せてくれました。

もう一つ、母から学んだことは忍耐です。母は、どんな困難な状況でも、決して諦めませんでした。家族が病気になったときや、仕事が忙しくて大変なときも、母は笑顔で乗り越えました。母のその強さは、私に大きな影響を与えました。

母は、まさに日本の価値観を体現しているような存在です。家族や周囲を大切に、努力と忍耐を持って日々を過ごすこと。これが、私が母から学んだ、日本文化の大切な教えです。

#### ■礼儀作法の教え

私の母は、私に日本の礼儀作法の大切さを教えてくれました。日本では、挨拶や感謝の言葉をしっかりと伝えることが非常に重要です。母は、いつも「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」といった基本的な挨拶を欠かさずにするよう、私に言っていました。挨拶は、相手とのコミュニケーションの第一歩であり、礼儀正しい態度を示す方法です。

母が特に強調していたのは、「感謝の気持ちを忘れないこと」です。何かしてもらったときは必ず「ありがとう」と言うように教えられました。たとえば、友達が手伝ってくれたときや、誰かがドアを開けてくれたとき、母はすぐに感謝の言葉を言う姿を見せてくれました。私もその習慣を身に付け、今でも常に「ありがとう」という言葉を大切にしています。

また、母は食事のマナーについても私に教えてくれました。日本では、食事の前に「いただきます」と言い、食事が終わったら「ごちそうさまでした」と言うのが習慣です。これらの言葉は、料理を作ってくれた人や、食材に対する感謝の気持ちを表すものです。母は、食事中も食べ物を大切に扱うことや、静かに食べることを教えてくれました。

母から学んだ礼儀作法は、日常生活の中でとても役立っています。日本では、他の人を思いやり、礼儀正しく振る舞うことが尊重されます。母が教えてくれたこれらの作法は、私が社会で周りの人と良い関係を築くために大切な要素となっています。

#### ■母との思い出

母との思い出には、たくさんの楽しい出来事があります。母は、季節ごとの行事を大切にしており、私たち家族もそれに参加して、たくさんの思い出を作りました。

一つ目の思い出は、お正月です。日本では、お正月は一年の始まりを祝う大事な行事です。毎年、家族で一緒におせち料理を作るのが恒例でした。おせち料理は、新年に食べる特別な料理で、母はその準備を毎年丁寧にしていました。私は母の隣で、料理を手伝いながら、どうしてこの料理が特別なのかを教わりました。おせち料理には、それぞれに意味があり、たとえば「黒豆」は健康を願うものです。「田作り」は小魚を使った料理で、昔は田畑に肥料として小魚を撒いていたことから、豊作を願う意味があります。

「紅白かまぼこ」は赤は魔除け、白は清浄を象徴し、平和や幸福を願う料理です。

このように、母は日本の文化を通して、私に大切なことを伝えてくれました。

次に、端午の節句についてです。端午の節句は、毎年5月5日に男の子の健康な成長を祝う行事です。よくこどもの日と一緒にされがちですが、実は少し違います。こどもの日は国民の祝日で、

男の子も女の子も含めて、すべての子どもの成長や健康を願う日です。一方、端午の節句は昔からある伝統行事で、特に男の子の成長をお祝いする日です。

私の家では、毎年母が五月人形や鯉のぼりを飾ってくれました。五月人形は、男の子が無事に成長して、強たくたくましく、賢い大人になるようにとの願いが込められたお人形です。私はその勇ましい姿が大好きでした。鯉のぼりは、鯉が滝を登って龍になるという伝説にちなんでいます。母は「鯉のように、強くて立派な大人になってね」といつも言ってくれました。母は、ただお人形を飾るだけでなく、行事の背後にある意味や歴史についても私に話してくれたので、そのたびに新しい発見がありました。

この行事を通して、母は私に勇気と、成長への期待を込めてくれていたのだと思います。端午の節句は、母の愛情が感じられる大切な行事の一つでした。

そして、夏祭りの思い出も忘れられません。毎年、母と一緒に浴衣を着て、近所のお祭りに行きました。夜には花火が打ち上がり、母と一緒に空を見上げました。母は、浴衣の着方や、祭りの意味を丁寧に教えてくれました。夏祭りの屋台で食べたたこ焼きや綿あめの味も、今でも鮮明に覚えています。

これらの行事を通して、母は日本の伝統や文化の大切さを教えてくれました。それは私にとって、単に楽しい思い出であるだけでなく、母との絆を深める大切な時間でもありました。

#### ■母との会話で学んだこと

母との日常会話から、私は日本語の言葉や表現、そして大切な教えをたくさん学びました。母はよくことわざや昔からの言い回しを使って、私にいろいろなことを伝えてくれました。その中でも、特に印象に残っているのが「石の上にも三年」という言葉です。

「石の上にも三年」とは、どんなに辛いことや苦しいことがあっても、我慢して続ければ、いつかは結果が出るという意味です。私は学校で勉強がうまくいかないときや、サッカーの練習で失敗したときに、よく母からこの言葉を聞かされました。母はいつも、「諦めずに続ければ、きっと成果が出るから大丈夫」と私を励ましてくれました。

もう一つ、母がよく言っていたのは「七転び八起き」です。これは、何度失敗しても、そのたびに立ち上がることが大切だという意味です。母は、この言葉を使って、失敗を恐れずに挑戦する勇気を私に教えてくれました。私が新しいことに挑戦するとき不安になったとき、母はこの言葉で「何度も立ち上がればいいんだよ」と励ましてくれました。

母との会話を通して、ただ日本語の表現を覚えるだけでなく、忍耐や挑戦することの大切さも学ぶことができました。これらの教えは、今でも私の人生において大きな支えとなっています。

#### ■母との衝突と解決

私と母の間でも、時々意見が合わずに衝突することがありました。特に、進路や将来の選択について話し合ったとき、私と母の考えが大きく違うことがありました。私が自分のやりたいことを選びたいと思うのに対して、母は私に安定した職業に就いてほしいと願っていたからです。

高校生のとき、私はサッカー選手になる夢を持っていて、サッカーに全力を注ぎたいと思っていました。しかし、母は「勉強も大事だから、大学に行って将来のためにしっかり準備してほしい」と考えていました。この違いから、私たちは何度か激しい言い争いになりました。

しかし、母との話し合いはいつも最後にはお互いを理解する形で終わりました。母は、私の意見や気持ちをしっかり聞いてくれて、私も母の考えを理解しようと努めました。サッカー選手になりたいという私の夢を応援してくれる一方で、万が一その道がうまくいかなかったためのために勉強も頑張るべきだという母のアドバイスは、今思えばとても的確なものでした。

私たちは、こうした衝突を通じて、根気強く話し合いを続けることが大事だと学びました。どんなに意見が違って、対話を続けることで解決の道が見つかると感じています。この経験は、母との絆を深めるきっかけにもなり、私にとって大切な教訓となりました。

#### ■家族とのコミュニケーション

母との関係を通じて、私は家族とのコミュニケーションがどれほど大切かを学びました。日本では、家族同士がお互いを支え合うことが重要とされています。母は、いつも私に「何か困ったことがあれば、家族に相談しなさい」と言っていました。母にとって、家族は最も身近で頼りにできる存在だからです。

母は、毎日の私との会話を大切にしてくれていました。たとえば、学校から帰ってきたとき、母は必ず「今日はどうだった？」と聞いてくれました。最初は、ただの会話だと思っていましたが、母がいつも私の話をしっかり聞いてくれることで、私は自分の気持ちや考えを安心して伝えられるようになりました。これは、家族とのコミュニケーションの基本だと思います。

また、母は感謝の気持ちを伝えることの大切さも教えてくれました。家族はお互いに助け合うのが当たり前ですが、だからこそ、どんな小さなことでも「ありがとう」と言うことが大事だと教わりました。母は家事をしてくれたり、私が何か助けてもらったときに「ありがとう」と言ってくれることで、自然に私も感謝の気持ちを表すようになりました。

家族との信頼関係を築くためには、日常的なコミュニケーションが大事だと思います。特に、感謝の気持ちや悩みを素直に伝えることが、家族との絆を強める大切な要素です。母から学んだこの教えは、私自身が家族と良好な関係を築くために今でも役立っています。

#### ■母から学んだ教訓

母からは、たくさん大切な教訓を学びました。その中で最も印象に残っているのは、「自分を信じて、諦めずに挑戦すること」の大切さです。母は、どんなときでも私に「自分の力を信じて、最後まで頑張りなさい」と言い続けてくれました。この言葉は、私が困難な状況に直面したとき、いつも心の支えとなっています。

たとえば、私はサッカーをしていましたが、うまくいかないことが続いた時期がありました。そのとき、母は「大輔、結果がすぐに出なくても、毎日少しずつ努力していれば、必ず進歩するよ」と励ましてくれました。母の言葉に支えられ、私は練習を続け、試合で久しぶりにゴールを決めることができました。

また、母は「失敗しても、それは次の成功のための一歩だよ」とも教えてくれました。失敗を恐れずに何度も挑戦することが、成長への道だと母は信じていたのです。これは、私が何事にも挑戦する勇気を持つきっかけとなりました。

大学の入試を控えていた頃には、私は第一志望の大学を目指して勉強していましたが、最初の模試では思うように結果が出ませんでした。正直、途中で諦めようかと何度も思いました。しかし、母は「結果が出なくても、努力を続ければ必ず前進できる」と言い続けてくれました。その言葉に励まされ、私は毎日勉強を続けました。そして、最後には第一志望の大学に合格することができたのです。母の教えがなければ、途中で諦めていたかもしれません。

社会人になってからの仕事においても、母の教えは大いに役立ちました。入社したばかりの頃、新しい環境や仕事のプレッシャーで失敗することが多く、すぐに自信を失っていました。そのとき、母の「失敗は次の成功のための一歩だ」という言葉を思い出し、自分を奮い立たせました。諦めずに仕事に取り組み続けた結果、徐々に仕事に慣れ、プロジェクトを無事に成功させることができました。

母から教わった「諦めない心」は、勉強や仕事、人間関係など、私の人生のあらゆる場面で役立っています。どんな困難にも立ち向かい、乗り越えるための大切な力を与えてくれた母の教えを、私はこれからも大切にしていきます。

#### ■未来への決意と母への感謝

母が私に教えてくれたことは、これまでの人生の中でとても大きな意味を持っています。母の教えは、私が成長するための土台となり、どんな困難な状況でも前向きに進む力を与えてくれました。これからも、母が教えてくれた「諦めない心」や「努力を続ける大切さ」を胸に、自分の道を進んでいきたいと思えます。

私は、母が私のためにしてくれたことすべてに、深い感謝の気持ちを持っています。母はいつも私のことを考え、励まし、サポートしてくれました。私が学校や仕事で悩んでいるとき、母はいつも温かい言葉で背中を押してくれました。母の優しさや強さは、私の中にしっかりと根付いており、今でも私を支えてくれています。

これからの人生でも、私は母から学んだ教えを活かして、自分らしく生きていきたいと思えます。困難なことがあっても、母の言葉を思い出しながら前向きに挑戦し続ける決意を持っています。そして、私自身が成長し、誰かを支えられる存在になることで、母に少しでも恩返しができると思っています。

次の休日には母の趣味であるガーデニングに付き合おうと思えます。母が大切に育てているバラや季節の花と一緒に世話しながら、今までの感謝の気持ちを伝える機会にしたいと考えています。母とのこうした時間を大切に、少しでも母に喜んでもらえたらと思えます。

母に対する感謝の気持ちは言葉では表しきれませんが、母が私に与えてくれた愛情と教えを胸に、これからの未来に向かって頑張っていきます。

「私の母」はいかがでしたか。

コメント欄から感想をみんなに教えてください。  
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



**Japanese-listening-SUSHI**

